

内科系

# ゲノム外来 (臨床ゲノム医療推進室)

☎ 0853-30-6500 (がん相談支援センター)



臨床ゲノム医療推進室長

薬剤局長

かなざわ あきよし  
金澤 旭宣

1989年卒

専門分野

消化器外科

資格

医学博士/日本外科学会 外科専門医・指導医/日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医/日本内視鏡外科学会 技術認定医(消化器一般:大腸)・評議員/日本臨床腫瘍学会 暫定指導医/日本がん治療認定医機構 暫定教育医・がん治療認定医/da Vinci Robot Surgery 術者 Certification/米国外科学会 フェロー(FACS)/Best Doctors in Japan/京都大学 医学部臨床教授/緩和ケア研修会修了



臨床腫瘍科部長

かわかみ こうし  
川上 耕史

2002年卒

専門分野

腫瘍内科

資格

医学博士/日本内科学会 総合内科専門医/日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医・指導医/日本がん治療認定医機構 がん治療認定医/島根大学医学部臨床准教授/緩和ケア研修会修了

## 関係医療機関へのメッセージ

島根県立中央病院では、2019年4月に厚生労働省よりがんゲノム医療連携病院の指定を受け、がんゲノム外来を開始しました。当外来では、保険診療としてがん細胞の100種類以上の遺伝子を調べる遺伝子パネル検査を実施し、効果の期待できる治療薬について検討しています。同時に臨床ゲノム医療推進室を立ち上げ、個人情報の適切な取り扱い、患者さんへの十分な説明、遺伝カウンセリングの実施などに取り組んでいます。

また、当院は全国のがん専門病院や大学病院などと取り組んでいる産学連携プロジェクトであるゲノムスクリーニング基盤研究(MONSTAR-SCREEN)に中国地方で唯一参加しており、より多くの患者さんががんゲノム医療から新しい治療を届けられるよう取り組んでいます。

近年、遺伝子検査の発達により遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)やリンチ症候群などの遺伝性のがんも検査で診断がつくようになりました。また、遺伝性の神経疾患や小児疾患も遺伝子の検査で診断や治療につながることも増えており、遺伝子検査の重要性はますます高まっています。これらの疾患に関しても臨床ゲノム医療推進室は遺伝子検査や遺伝カウンセリングを行い、患者さんにとって有益な情報を提供できるような体制を整えています。

外来は完全予約制となっております。ご予約は地域連携室までお問い合わせください。

## 治療等実績

- ①保険診療での包括的がんゲノムプロファイリング検査は以下の方が対象となります。
  1. ECOG Performance Status が0~2(検査後に推奨できる治療が見つかった場合に化学療法が実施できる可能性が高い方)。
  2. 病理学的診断によって悪性固形腫瘍と診断されている。
  3. 治癒切除不能または再発の病変を有する①原発不明がんまたは②標準治療が終了している、もしくは終了が見込まれる固形がんである。
- ②遺伝性腫瘍や遺伝性疾患などに関する遺伝子検査は下記の検査以外にも個別に対応した検査を実施しています。

## 検査名

[保険適応] GenMineTopがんゲノムプロファイル OncoGuide™ NCCオンコパネルシステム FoundationOne® CDxがんゲノムプロファイル FoundationOne® Liquid CDxがんゲノムプロファイル
[自費診療] ACTRisk™ (67遺伝子) ACTRisk™ Care (31遺伝子) ACT Associate Assay (血縁者診断)
[臨床試験] 血中循環腫瘍DNA(ctDNA)を解析するリキッドバイオプシー (適応症例が限定されています。個別にご相談ください。)